

**令和元年度進行管理・評価シート**  
**掛川市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画法との連携	.....	2
2 景観計画との連携	.....	3
3 屋外広告物の制限	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的街並み調査事業	.....	5
2 歴史的風致形成建造物の保全・活用事業	.....	6
3 松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業	.....	7
4 横須賀城跡復元・活用事業	.....	8
5 高天神城跡復元・活用事業	.....	9
6 高天神六砦「中村砦」保存・活用事業	.....	10
7 郷土芸能・伝統行事伝承事業	.....	11
8 三熊野神社大祭調査研究事業	.....	12
9 祭典伝承PR事業	.....	13
10 葛布産業振興支援事業	.....	14
11 茶手揉み技術伝承事業	.....	15
12 掛川茶マイスター認定制度推進事業	.....	16
13 重要文化的景観の調査研究事業	.....	17
14 掛川道徳の学習推進事業	.....	18
15 城下町風街並みづくり事業	.....	19
16 横須賀景観整備機構運営支援事業	.....	20
17 掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び 街路灯修景事業	.....	21
18 横須賀街道電線地中化及び美装化事業	.....	22
19 粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業	.....	23
20 郷土読本作成事業	.....	24
21 文化財展の開催事業	.....	25
22 市内の歴史・文化資産のガイド養成事業	.....	26
23 掛川銀行復元・活用事業	.....	27
24 サイン・案内板設置事業	.....	28
25 レンタサイクルの推進事業	.....	29
26 掛川公園と周辺整備事業	.....	30
27 「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」 周遊道路整備事業	.....	31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査、保存管理(活用)	.....	32
2 文化財の修理、周辺環境整備	.....	33
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携	.....	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	35
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光の振興	.....	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	37
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	--	---

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係わる都市政策課と社会教育課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。  
 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、掛川市歴史的風致維持向上協議会と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。  
 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、掛川市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。

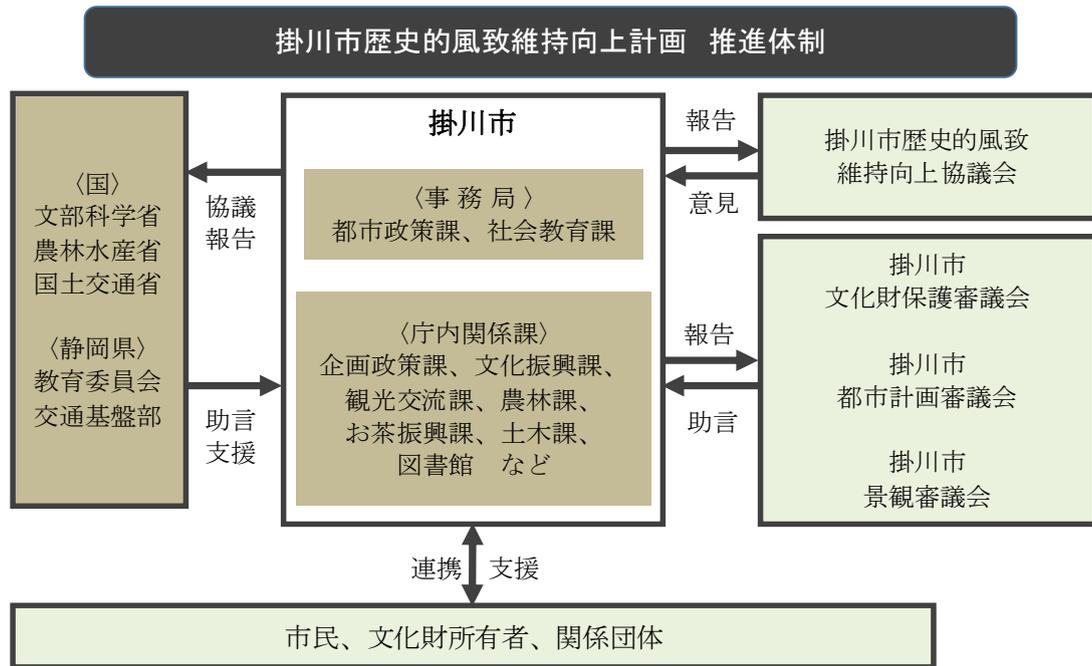
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画策定時の体制を維持し計画的な推進を図った。  
 令和2年度より、文化財の保護に関する事務を教育委員会から市長部局へ移管し、文化財をまちづくりに活用することで地域の活性化を促進することとした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



※観光交流課は観光・シティプロモーション課に名称が変更されています。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
都市計画法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 用途地域の指定状況を踏まえた上で、適切な土地利用の誘導により、周辺環境との調和に努める。特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は、伝統的建造物群保存地区の制度の活用も検討していく。「掛川城下地区」では、「掛川市城下町風街づくり地区計画」等により、引き続き歴史的風致と調和した良好な市街地環境の形成を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成6年(1994年)決定の「城下町風街づくり地区計画」に基づき、掛川駅北地区における城下町風街づくりの推進及び健全な都市景観の形成を図った。  
 平成6年度から届出実績延べ 66件(令和元年度実績なし)

進捗状況 ※計画年次との対応  
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

### 地区計画とは

地区計画は、地区レベルで、その居住者の利用する道路・公園・広場といった施設の配置及び規模に関する事項や、建築物の形態・用途・敷地等に関する事項を総合的な計画として定め、開発行為や建築行為をこれに基づいて規制・誘導することによって、当該地区の特性にふさわしい態様を備えた良好な市街地の整備を図ろうとするものです。

### 掛川市城下町風地区計画の目標

**テーマ**  
 「にぎわいと伝統の調和した風格あるまち」

中心市街地においては、掛川市の歴史的なシンボルである「掛川城」と現代の顔となる「掛川駅」という2つの核が存在し、さらに旧東海道すじの「東西歴史軸」と掛川駅から北へ伸びる「南北シンボル軸」が交差しています。

このような都市構造から、この地区は「歴史ゾーン」と「現代ゾーン」との“結節空間地区”として位置づけることができ、城下町としての風格や旧東海道すじのにぎわい、さらに現代的な掛川のイメージ・活力が調和し、融合した地区として、「新たな城下町づくり」の推進を図ることを目標とします。

### 地区計画の範囲

#### 商業・業務地区

駅前広場を中心とする地区は、商業施設と業務施設の立地誘導をする。

図中  部分

#### 城下町風街づくり重点地区

天守閣の前景となる地区であり、幹線道路沿線には商業施設等の立地誘導を図る。

図中  部分

当地区は建築物等の規制があり明細は次ページに記載

#### 駅前広域集客施設地区

将来、既存大型店の移転後の跡地を市の玄関口である、駅前広場にふさわしい雰囲気を出すような、広域集客施設の再開発を積極的に誘導する。

図中  部分

#### 旧東海道地区

旧東海道のにぎわいと新たな和風空間を創出することを目的に、街路と沿道街区が一体となった再開発を積極的に誘導する。(城下町風街づくり重点地区内の旧東海道に面する部分についても、同様に再開発を積極的に誘導を図る。)

図中  部分

#### 商住協調地区

旧東海道沿道のにぎわいを創り出すように、建物の1階部分については商業施設等の立地誘導を図る。

図中  部分



城下町風街づくり重点地区(大手門周辺)



城下町風街づくり重点地区(掛川城南側)



評価軸②-3  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
屋外広告物の制限		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

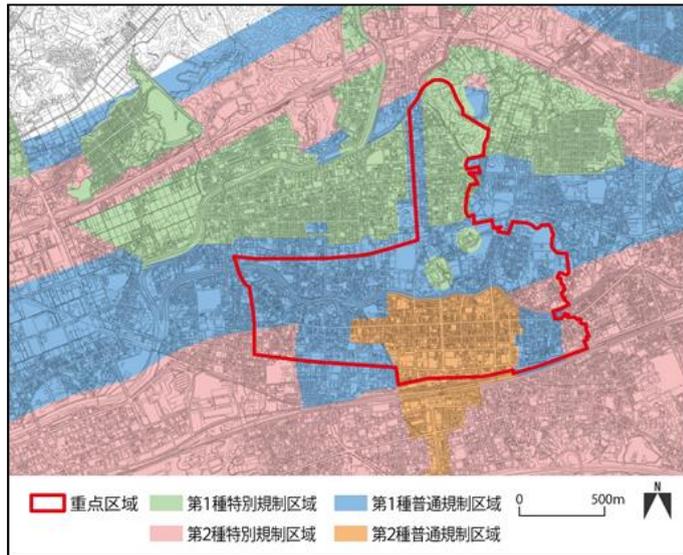
計画に記載している内容 屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

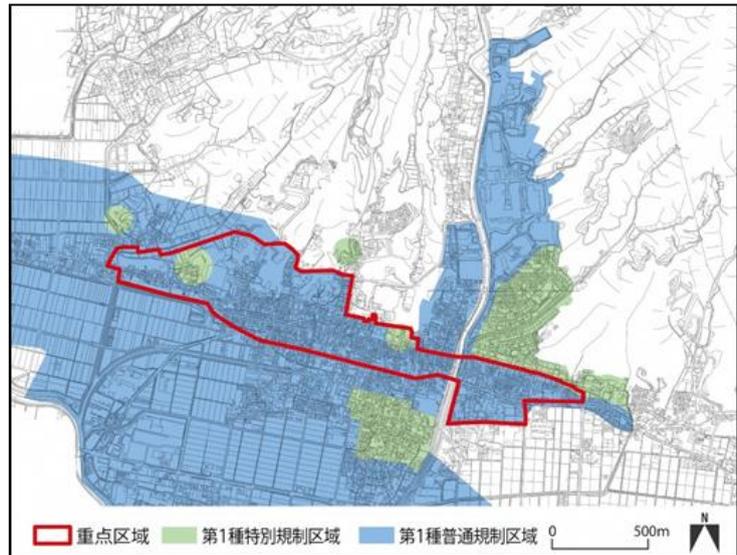
「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った(令和元年度353件:2月末現在)。  
本市独自の屋外広告物条例は、県条例に基づく違反屋外広告物の指導を進めたうえで、制定に向けた検討を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

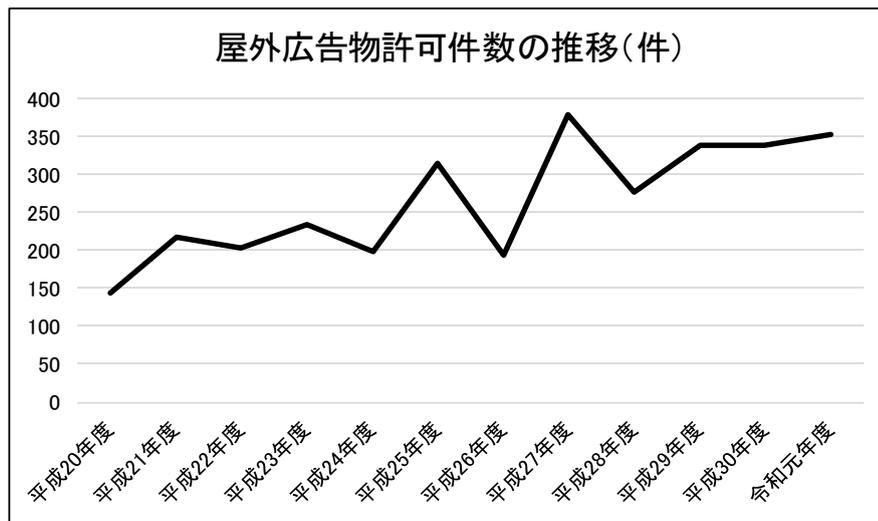
状況を示す写真や資料等



「掛川城下地区」の規制区域



「横須賀城下地区」の規制区域



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

歴史的街並み調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
------------	---	--

事業期間	平成29年度～令和8年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	市内各所に歴史的な建造物が残っているが、十分な整理がされていないため、建築様式や建築時期などの調査を行い、掛川市景観計画に基づく景観重要建造物及び文化財への指定を推進する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成6年(1994)に復元された掛川城天守を、景観計画に定める方針に基づき、景観重要建造物に指定するよう、庁内の関係部署と協議を始め、令和2年度中の指定を目指すこととした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



景観重要建造物の候補(掛川城天守)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物の保全・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物において、維持保全及び文化・観光資源としての活用を図るために、必要に応じて現況調査、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の指定に向け、指定対象の要件の確認を行った。 特に、松ヶ岡(旧山崎家住宅)については、掛川市文化財保護条例に基づく指定文化財であり、本市の歴史を把握する上で重要なものとして、適正な維持管理が行われており、今後の整備により継続的な一般公開が見込まれる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
評価軸③-3参照:松ヶ岡(旧山崎家住宅)			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度  
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)及び市単独事業

計画に記載している内容 掛川藩御用達を勤めた豪商山崎家の住宅(松ヶ岡)の修復を行う。また、重要文化財指定を目指すとともに、地域の発展を伝える施設等として活用していく

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 平成29年度に修復工事の修復・活用調査設計、平成30年度に実施設計、令和元年度は修復工事に着手し、山崎家が転出した昭和31年以降の改装で足された部材(後補材)の撤去を行った。  
 松ヶ岡の建物や歴史、地域発展に寄与した山崎家の功績等の周知のため、毎月第4土曜日に一般公開を実施した。GWや紅葉の時期には2～3週間の期間で特別公開を実施した。  
 市民ボランティアと協力し、スタンプラリーやミニ門松作りなど、子どもたちが松ヶ岡に親しむことを目的としたイベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	160年以上前に建築された建物のため、部分によっては傷みが進んでいる。応急措置実施の場合も修復計画との調整が必要。修復費用は寄附金で賄うため、引き続き周知・啓発を進め、寄附金を募っていく。

状況を示す写真や資料等



一般公開(毎月第4土曜日)



紅葉特別公開(令和元年11月23日～12月15日)



**掛川「松ヶ岡」復元工事を公開**  
 掛川市は同市南西郷の旧豪商宅「松ヶ岡」を12月8日まで特別公開している。紅葉が始まった庭園や主屋の改修工事の様子などを見学できる＝写真＝。  
 主屋は1856年の建築時の姿に復元するため、後年取り付けられた天井や床材の撤去を進めている。天井の上には屋根を支える巨大な梁(はり)が、床材の下からは土間やかまど跡、基礎部分が姿を現している。江戸時代の生活様式や高い建築技術がうかがえる。  
 公開は午前10時～午後3時。12月1日は午後5～8時も開館する。紅葉は来週末ごろかが見頃という。

修復工事の公開(令和元年11月)  
静岡新聞記事



スタンプラリー  
(令和元年10月26日)



ミニ門松作り  
(令和元年12月28日)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
横須賀城跡復元・活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 史跡等購入費国庫補助金、静岡県文化財保存費補助金

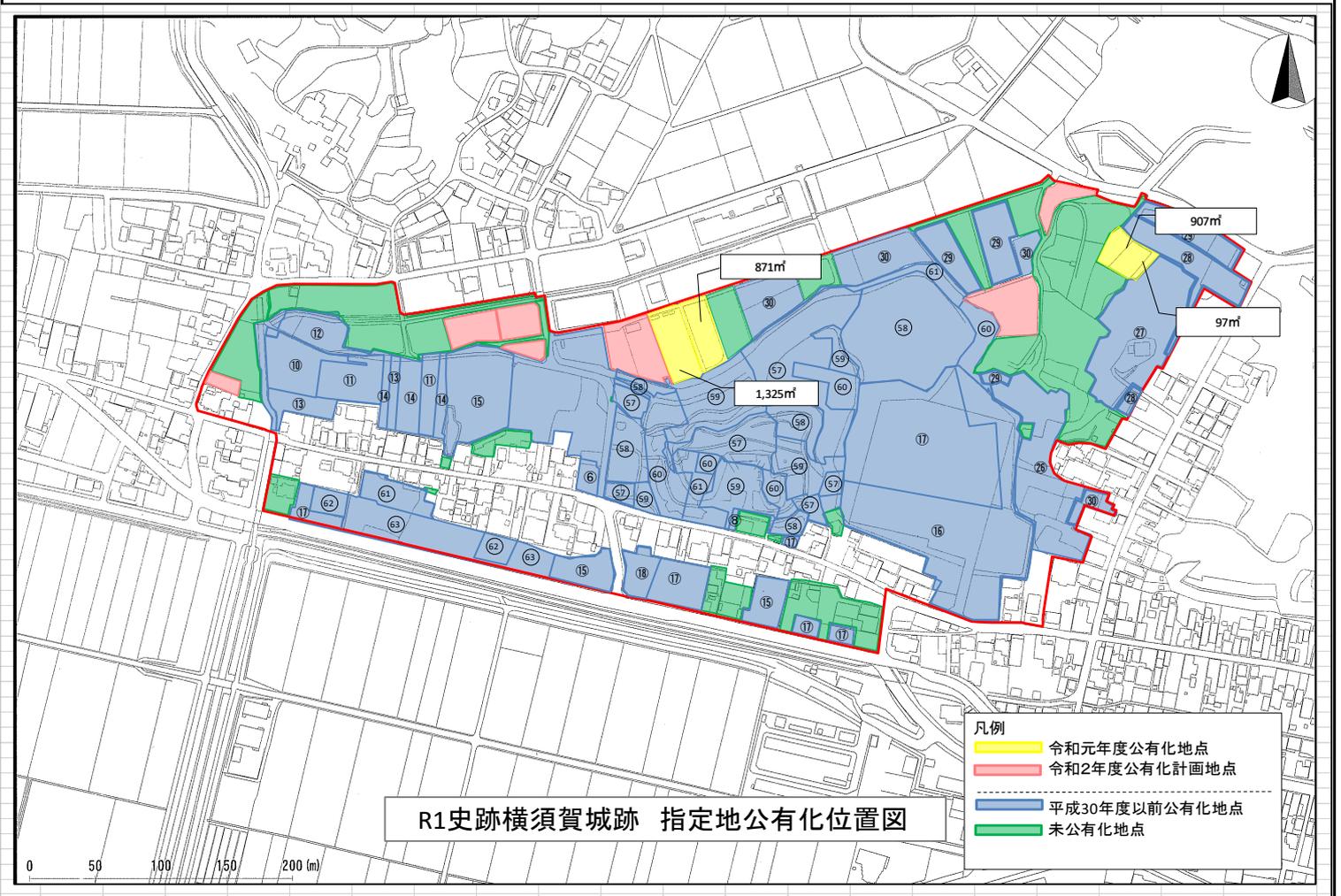
計画に記載している内容 現在は史跡指定地内の公有化を主に進めているが、未整備の部分については整備基本計画に基づき、発掘調査を行い、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡指定地内の公有化を実施し、4筆、3,200㎡の買上げを実施した。公有地の面積は115,618.68㎡となり、史跡指定地面積の68.6%が公有化された。  
 策定されている整備計画の見直しを計画しており、整備委員会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内には横須賀城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
高天神城跡復元・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、静岡県文化財保存費補助金

計画に記載している内容 基本整備計画に基づき、発掘調査終了部分については、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。それと並行して、未調査部分の発掘調査を実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

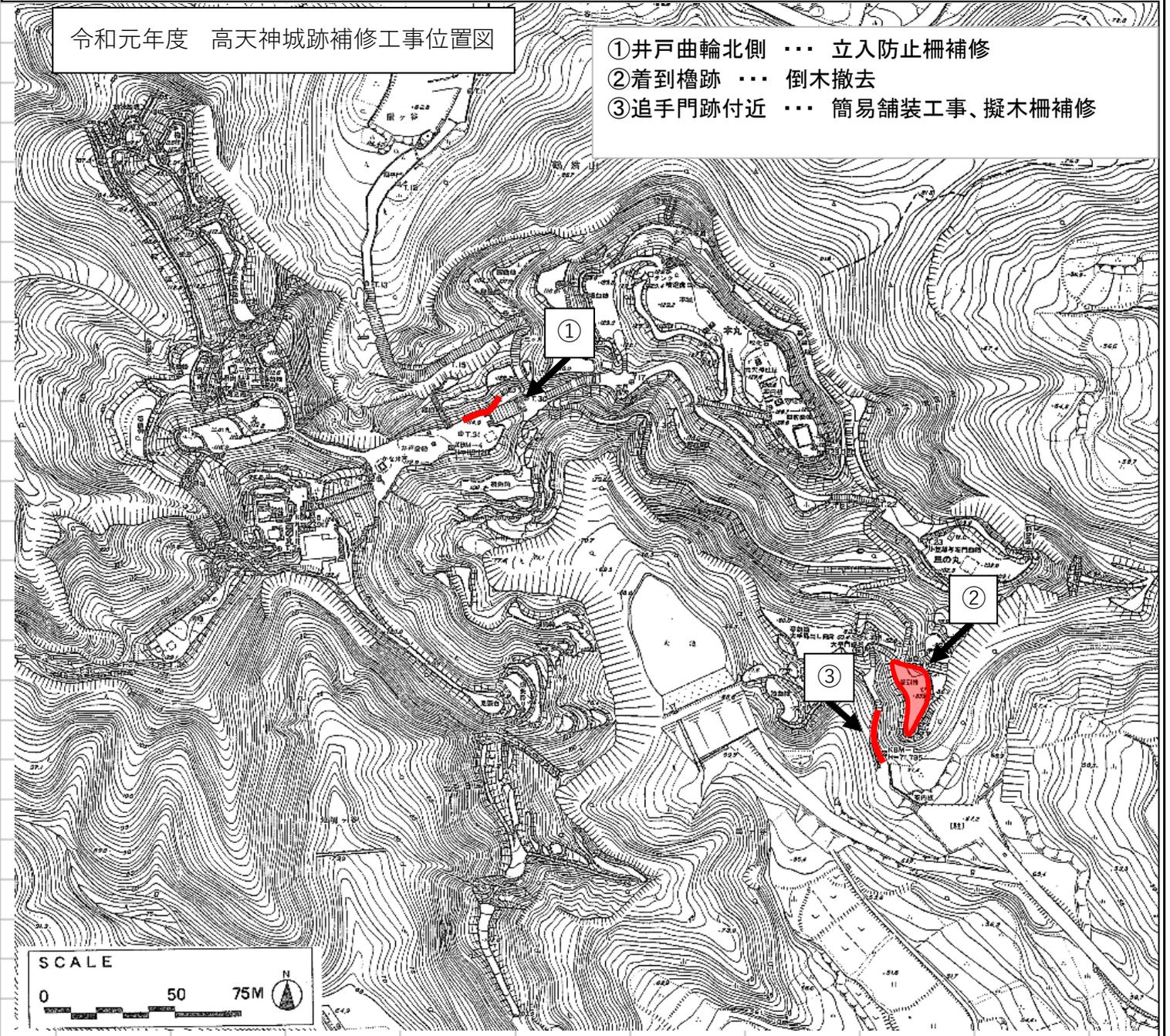
危険箇所への立入り防止柵の設置、遊歩道の補修、擬木柵の補修、倒木の撤去などを実施した。(市単独事業)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

市内には高天神城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
高天神六砦「中村砦」保存・活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中村砦敷地の一部を市が買収、残りの用地を寄附受領した。地域住民が中心となり竹等を伐採し、環境整備が始まった。史跡として保存し、市と地域が協働により活用していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域住民が中心となって組織された、中村砦城山保全会による環境整備が行われ、平成29年度から平成30年度かけて、木竹の伐採、園路の整備を実施、令和元年度は竹やぶを切り開いてならした広場に芝生を植え付け、地域の憩いの場として整備をした。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



芝生広場として整備



(令和元年7月10日 静岡新聞)



(令和元年12月13日 静岡新聞)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
郷土芸能・伝統行事伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成17年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	貴重な郷土芸能や伝統行事の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、郷土芸能等の様子を留め、後世にもその姿を知ることができるよう、報告書を作成し記録として残す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

静岡県指定無形民俗文化財である、「獅子舞かんからまち」、「大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事」の保存会に対して、保存伝承や後継者指導養成のための事業費の一部を補助した。  
 また、「大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事」で使用する神輿の修理が静岡県文化財保存費補助金で実施され、事業費の一部を市費からも補助した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



獅子舞かんからまち



大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事



修理した神輿

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
三熊野神社大祭調査研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県指定の無形民俗文化財である「三社祭礼囃子」及び「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、江戸時代の祭りが色濃く継承されていると考えられているが、文化財としての価値が一部明確になっていないため調査研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定無形民俗文化財である、「三社祭礼囃子」、「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存会に対し、保存伝承と後継者指導養成のための事業費の一部を補助した。  
 平成30年度に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択された、「三熊野神社大祭の祢里行事」の民俗文化財調査を令和2年度から国庫補助事業にて4年計画で実施する。祭典開催が4月のため、令和元年度から準備を進め、R1.9.14に調査準備会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



三社祭礼囃子



地固め舞



田遊び

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
祭典伝承PR事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	祭典等行事の説明板等を周囲の景観と調和するように設置し、伝統行事として理解を深めつつ、交流人口の増加を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針を策定した。今後、観光サイン、案内サイン等は、基本方針に沿った意匠形態、色彩、大きさ等により順次整備していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
評価軸③-23参照: サイン・案内板設置事業			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
葛布産業振興支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	葛布の需要開発の考察や葛の多方面での利用の調査・研究、葛布の理解を深め後継者の発掘につながる体験事業、安定的な原料供給と耕作放棄地での栽培等の研究・調査を行う。また、葛布の文化的価値や葛の利活用を市内外に発信し、誘客や消費の拡大を図り後継者の発掘、育成や地域経済の活性化に繋げる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度に「掛川市葛利活用委員会」と葛布振興・葛原料利用・葛成分研究の3分科会が発足。葛に関わる様々な事業への取組を推進した。平成30年度は葛づくり体験ツアー、大学との連携プロジェクトや葛布の未来を考えるワークショップなどを実施している。 令和元年度は、11月23日に第2回掛川葛布未来づくりフォーラムを開催し、葛布文化を通じて掛川市の未来を考え、楽しみながら取り組む葛祭りの企画を考えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



第2回掛川葛布未来づくりフォーラム  
 令和元年11月23日(土)  
 参加者: 一般公募等 70名  
 内容: 令和2年度の葛祭り企画

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
茶手揉み技術伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 手作業でしかわからない、茶の手揉みによる良質な荒茶製造技術を伝える。また、地元の幼稚園や小学校の生徒たちに茶摘み体験や手揉み体験の機会を設け、市を代表する伝統産業である茶への理解を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小学校を中心に、茶の手揉み技術伝承と茶について学習会を行い、継続的に子どもの茶への関心と理解を深めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

掛川茶手揉み保存会

実施日	内容	出席者
令和元年6月10日	手揉み技術実演	西郷小学校
令和元年10月17日	手揉み技術実演	倉真小学校
令和元年10月26日	手揉み技術実演	上内田小学校
令和元年11月6日	手揉み技術実演	原谷小学校
令和元年11月14日	手揉み技術実演	掛川第二小学校
令和元年11月15日	手揉み技術実演	東山口小学校
令和元年11月15日	手揉み技術実演	日坂小学校
令和元年11月20日	手揉み技術実演	城北小学校
令和元年11月26日	手揉み技術実演	中央小学校
令和元年12月11日	手揉み技術実演	西山口小学校
令和元年12月12日	手揉み技術実演	曾我小学校

大城手揉み保存会(後継者養成事業)

実施日	内容	出席者
平成31年3月25日	高天神新茶手揉み	10名(菊川手揉み保存会)
平成31年3月31日	高天神例大祭新茶祭り手揉み実演	5名
令和元年11月21日	お茶の手揉み体験教室	81名(大坂小3年)
令和元年12月4日	お茶の手揉み体験教室	23名(佐束小3年)
令和元年12月10日	お茶の手揉み体験教室	39名(大淵小3年)



手揉み技術実演(小学校)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
掛川茶マイスター認定制度推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	お茶の知識や掛川のお茶に深く精通し、掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリストを「掛川茶マイスター」に、その人が携わる店舗を「おいしい掛川茶が飲める店」に認定する。さらに、美味しい掛川茶マップの作成、美味しい掛川茶が飲める店スタンプラリーなどを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
掛川茶マイスターとは、お茶の知識や掛川のお茶に深く精通し、実際に掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリスト。 平成22年から始まった「掛川茶マイスター」認定制度は、現在79名が認定され、37店舗でマイスターが淹れたお茶を飲むことができる。平成29年度から平成30年度にかけてスタンプラリーを実施した。(令和元年度は認定実績なし)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



掛川茶マイスターが淹れる掛川茶が飲める店MAP  
 (掛川茶商協同組合HP)  
<http://www.kakegawa-cha.com/meister.html>

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
重要文化的景観の調査研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成29年度～令和8年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	世界農業遺産認定地域を対象に、文部科学省が所管する重要文化的景観の選定に向けた調査研究を行っている。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東山地区を対象に、重要文化的景観の選定と活用に向けて制度の調査を行い、必要な手続きや対象地域におけるメリット、デメリット等をまとめ、庁内で情報を共有している。まずは、掛川市景観計画に基づく眺望点の指定による眺望景観の保全を図るように検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



候補地の状況(東山地区)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
掛川道徳の学習推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 生涯学習や総合学習などにおいて、広く市民に掛川道徳に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、市民の郷土や報徳の教えに対する関心を深める

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 本市ならではの題材や人材を活用し、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を「かけがわ道徳」とし、小中学生を対象に、歴史や文化等を通じて郷土を誇る心を育てている。市内全小中学校において、年間35時間の道徳のうち、10%程度を「かけがわ道徳」として扱い、郷土読本(副読本)を活用するなど、地域の偉人、歴史や伝統等を学び、地域に興味と誇りを持つ機会とした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



2 かけがわ道徳とは

(1) 掛川市のめざす子どもの姿  
 掛川市の子どもたちは、家族との親睦採取や進んで挨拶、さまじの遵守等についてよい傾向が見られる。特に、地域行事への参加率に於いて高い数値が見られる。(全国学力学習状況調査)  
 これは、地区役員や地域防災等の地域活動、全市 青少年育成推進文化活動等へ参加する子どもたちが多いからである。  
 今後、こうした掛川の子どものよき姿大切にしながら、掛川市の目標である『夢に向かって、自ら考え、自ら実践し、心豊かにたくましく生きる子ども(「人づくりに誇りあふれがわ」)』に向かって一層教育の充実を図っていくことが重要である。

(2) かけがわ道徳とは  
 掛川ならではの『題材』を取り入れたり、『地域人材』を活用したりする『特別の教科 道徳』を従として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育をいう。

(3) かけがわ道徳のねらい  
 掛川の子どもの地域での先人の生き方に触れ、また、様々な体験活動を通じて自己の生き方についての考えを深め、郷土を誇る心をもち、夢に向かってたくましく生きることをねらいとする。

(4) かけがわ道徳の授業の位置づけ  
 年間 35 時間の道徳授業の中で、3～5 時間程度のかけがわ道徳の授業を行う。

(5) かけがわ道徳の特色  
 ア 郷土の偉人や文化等を取り入れた道徳  
 ・多様な生き方が盛り込まれ、生きる知恵や勇気などを学ぶことができる掛川の偉人、この人に学びたい一週間の偉人ものがたり、や なるほどなっとく金次郎さん』を活用する。  
 ・地域の自然、伝統文化などを題材とし、子どもたちが感動を覚えるような道徳教材を開発する。

令和元年度実践報告書(抜粋)

第4学年 かけがわ道徳授業案 掛川市立第二小学校

1 主題名 掛川市に伝った金次郎の教え(内容項目4 (2) 勤労・社会性)

2 資料名 『捨て書』(出典 なるほどなっとく金次郎さん)

3 本時のねらい  
 捨てられた場面を思い出し、一本一本大切に育てた結果、実を収穫し、年々収穫量を増やしている金次郎の姿を学ぶことを通して、小さなことでもねほり働く大切さやこうとする態度を養う。

4 指導過程

過程	学習過程	留意点
導入	①このついでに上ったと思う事ありますか。 ・「キラキラと輝く葉を眺め、素晴らしい会場になった。練習して文字が上手になり、見えることができた。②ついでに輝く心を持って入るための準備をしよう。	・このついでに輝く葉を入れた。と見せることで、「よかつた」と感じて見えるだけでなく、具体的な言葉での表現を引き出す。
展開	③お話を聞いた金次郎は、どんな気持ちになったのだろうか。 ・「嬉しい」「悲しい」「悔しい」「驚いた」「感動した」など、自分の感じたことについて発表する。 ・「お話を聞いた金次郎は、どんな気持ちになったのだろうか。」	・社会で学んだ大日本報徳社の業績を伝える。 ・立場を決め、ノートに自分の考えを書き足すことで、発表するようになる。
まとめ	④お話を聞いた金次郎は、どんなことを思ったのだろうか。 ・あきらめずに続けてきてよかった。 ・「お話を聞いた金次郎は、どんなことを思ったのだろうか。」 ・自分自身も、自分の感じたことを書き足す。 ⑤お話を聞いた金次郎は、どんなことを思ったのだろうか。 ・自分自身も、自分の感じたことを書き足す。 ⑥お話を聞いた金次郎は、どんなことを思ったのだろうか。 ・自分自身も、自分の感じたことを書き足す。	・対立場面を設定することで、素直に感情を持たせると共に互いの発言に耳を傾けさせる。 ・振り返りは金次郎が学んだものだけでなく、自分の生活や経験に置き換えて考えさせ、自己の生き方に反映させる態度を引き出す。 ・金次郎の姿を思い出し、年々収穫量を増やしている金次郎の姿を学ぶことを通して、小さなことでもねほり働く大切さやこうとする態度を養う。

5 道徳の授業づくりの工夫  
 ○対立場面を設定することで、理由をもち、主体的に取り組む姿を引き出す。  
 ○本文は読解のみの使用し、展開では考えの根拠を自分の心の中にも、「自分だったらどう思うか」と、問いかける。

6 関連する活動

重点目標「やさしく伝え合おう 進んでやろう」の具現の場

ステージ	実践	効果	感謝
勤務	読んでやろう 「読んでやろう」 「そのキッズシール」 で奨励	そうじは「だ・い・じ」 だ まって い っしょうけんめい じ かんいっばい	贈り物 「すまじみ」
	やさしく伝え合おう やさしい言葉(おかわり言葉・さん付け)	「ありがとうシール」で成長を実感 クラスみんなで達成 したいめあてを決めて 「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち	「ありがとうシール」 「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち
分産	夢に向かって自分らしく 物を持ち出す (分別・リサイクル)	「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち	「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち
	みんなのことを考えて 人の話を分かってもらうとして聴く 「リスリッスンシール」で奨励	「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち	「まずかけカード(よい所見つけ)」 取り持ち

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町風街並みづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成3年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地区計画区域において、建築物の修景に要する費用の助成、中心市街地活性基本計画等との整合を図り、同地区の城下町風街づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画法に基づく「城下町風街づくり地区計画」と連携し、掛川城を背景とした街並みの形成を図るため、建築行為等において、基準に適合するものに対し、100万円(対象事業費の1/2)を上限に補助する。平成3年度から延べ95件(令和元年度実績なし)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



補助事例(清水銀行)



補助事例(民間店舗)



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び街路灯修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川城周辺において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、電線地中化及び道路修景整備を実施し、景観形成を行うとともに城内の賑わいを取り戻し観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

街なみの環境を整備するため、歴史的風致形成建造物やサインの整備に合わせ、道路の美装化や無電柱化について、令和2年度から5カ年の計画を立てた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



無電柱化予定箇所(報徳社周辺)



道路美装化予定箇所(大手門交差点)

街なみ環境整備事業計画

- 街なみ環境整備事業地区の概要
  - 名称・面積  
掛川城周辺地区 (75.45ha)
  - 事業期間  
令和2 (2020) 年度～令和6 (2025) 年度
  - 整備内容
    - 歴史的風致形成建造物の整備
      - 松ヶ岡修復
      - 掛川城天守閣修復
    - 道路の美装化
    - 電線地中化
    - サイン整備
  - 区域・事業位置

無電柱化等整備事業計画(案)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
横須賀街道電線地中化及び美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川市景観形成重点地区の横須賀街道において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化、道路舗装の美装化及び道路構造物(道路側溝等)の改修を行い、景観形成と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省の無電柱化ワンストップ相談窓口制度を活用し、中部地方整備局から派遣された外部有識者と現地を確認し、無電柱化に向けた課題を整理した。令和2年度から、現地調査を進め具体的な範囲や手法の検討を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路内には、既に通信埋設管、水道、下水道や用水路が埋設されており、歩道のない6m弱の道路であり、道路内への埋設には相当な費用がかかる等の課題が多い。

状況を示す写真や資料等



実施予定箇所の状況



ワンストップ相談の様子  
(令和2年1月11日 静岡新聞)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
栗ヶ岳周辺における景観形成推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業用施設の色彩等の配慮すべき事項、茶草場農法や魅せる農業の推進などを盛り込んだ景観計画を、東山地域の住民と意識共有しながら策定する。また、ビュースポットからの眺望を阻害する電柱移転や防霜ファンの色彩調和、栗ヶ岳登山道のガードレールの改善を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年3月に静岡県と周辺市町で策定した「大井川流域・牧之原大茶園景観形成行動計画」において、栗ヶ岳周辺地区を重点区域に位置付け、静岡が誇る伝統農法を感じる景観づくりを景観形成の目標とし、計画的に景観形成の推進を図ることとした。また、栗ヶ岳山頂には、「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス(かっぼしテラス)」が開業(令和元年5月30日)、山頂からの眺望景観を望むスポットが整備された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		栗ヶ岳山頂へのアクセスは、公共交通手段がなく道路が狭いなどの課題がある。麓駐車場からのウォーキングによる登頂や狭小箇所の改良などを実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス



デッキのカフェの様子



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

文化財展の開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	--	---

事業期間	平成29年度～令和8年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	市民が文化財を身近に感じ、郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらうため、一般市民を対象とした「出土文化財展」、「考古展」及び遺跡の現地説明会、小・中学生を対象とした「出前文化財講座」及び「夏休み文化財教室」を開催する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度に開催した文化財展等の期間等及び参加人数  
 出土文化財展(11日間、1,040人)、出前文化財講座(2校、2学級、47人)、  
 夏休み文化財教室(1日間、40名)、瀬戸山Ⅰ遺跡第7次発掘調査現地説明会(1日間 57名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	例年、出土文化財展(5日間)、考古展(5日間)と年間2回の展示会を開催していたが、令和元年度から出土文化財展の期間を延長し、展示会の開催を年1回とした。
--	--

状況を示す写真や資料等



出土文化財展  
令和元年6月12日～令和元年6月23日



出前文化財講座「古墳巡り」 令和元年5月8日



夏休み文化財教室「発掘体験」 令和元年8月3日



瀬戸山Ⅰ遺跡第7次発掘調査現地説明会 令和元年12月4日

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

市内の歴史・文化資産のガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	--	---

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化資産の案内ガイドを養成し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むとともに組織化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

掛川観光ボランティアガイド「猫の手の会」によるボランティアガイドの先進地視察によるボランティアガイドの養成を行い、観光客などの利便性や満足度の向上を図った。実施日:令和元年9月29日(土) 研修先:駿府匠宿、丸子城等(静岡市)  
 その他、掛川観光ボランティアガイドによる体験ウォークを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ボランティア団体や地区などの観光に関するまちづくり活動が今後も継続するよう、既存の団体活動の継続や充実、団体同士の情報共有や連携を促す仕組みが必要です。 (掛川市観光振興計画から引用)
--	---

状況を示す写真や資料等

**県民の日 おもてなし体験ウォーク**

掛川駅西の史跡を猫の手の会が濃い案内をしながら共にウォークします。

2019

**とき:8/24(土) あさ8:30~12:00(小雨実施)**  
**集合場所:掛川市役所玄関**  
 コース:掛川市役所玄関-亀の甲(清福寺跡)-道江塚-利神社-寶生堂金蔵資料館-掛川市役所玄関  
 持ち物:ウォーキングができる履物で、飲み物、タオル、帽子など。  
 ※参加料:参加者にはペットボトルのお茶1本、塩あめがります。  
 ※あつい、暑い夏 熱中症対策の用意をして参加してね!※

**コースマップ**

**申込先:**  
**掛川観光ボランティアガイド**  
**(猫の手の会)**  
**TEL/FAX:0534-22-1100**  
 当日参加もできます。

体験ウォークの募集

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
掛川銀行復元・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	明治13年に設立した当初の姿を復元するため、明治18年の2代目掛川銀行の解体直前の写真や建物概要の記録などをもとに調査、検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
サイン・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 万人にわかりやすいグローバルデザインのものに統一した、歴史文化・観光資産の紹介や案内看板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

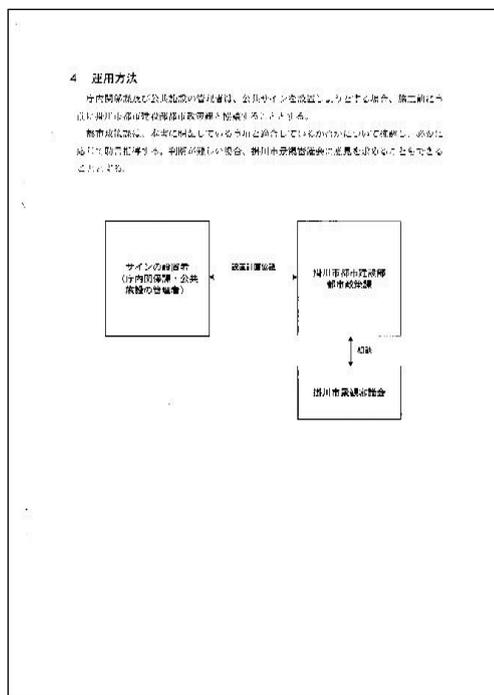
令和元年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針を策定した。今後、観光サイン、案内サイン等は、基本方針に沿った意匠形態、色彩、大きさ等により順次整備していく。

進捗状況 ※計画年次との対応

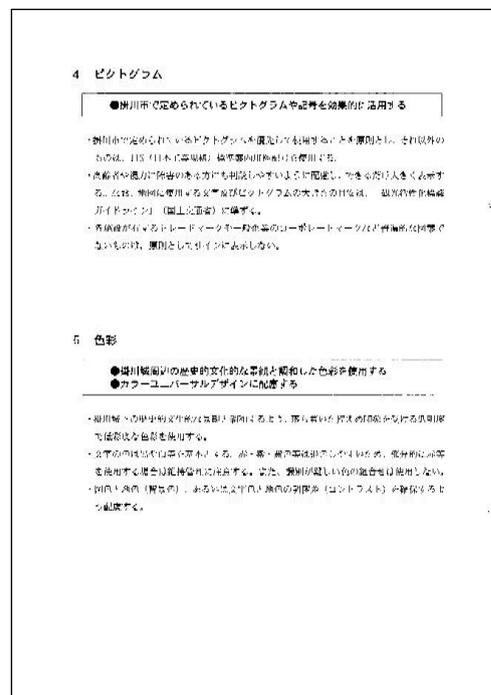
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



サイン基本方針  
(抜粋: 運用)



サイン基本方針  
(抜粋: 色彩等)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

レンタサイクルの推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

事業期間	平成29年度～令和8年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	公共交通機関と連動したレンタサイクルについて、案内チラシなどによる周知、モデルコースの提案などにより、利用者の拡大を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年3月策定の「掛川市観光振興計画」において、掛川駅から掛川城等の主要観光施設を周遊を促すための、レンタサイクルの継続実施と利用促進が位置づけられており、計画的にレンタサイクルの利用者の拡大が図られた。掛川駅北駐輪場及び大手門駐車場において無料で運用されている。令和元年度は881台が貸し出され、周遊を促す効果があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

基本方針6に基づく取組

**基本方針6 掛川に行きやすい、周りやすい環境を整える**

**取組の柱(1) 広域交通の利便性の向上**

**具体的な取組① 富士山静岡空港からのアクセスの確保**

- ・「富士山静岡空港」利用者が本市を訪れやすいように、空港と「掛川駅」を結ぶ交通手段の確保を図ります。
- ・空港や「御前崎港」への交通アクセスの向上及び「リニア中央新幹線」開通を見据え、「東海道新幹線掛川駅」への「ひかり」の停車について促進していきます。

**具体的な取組② 広域道路の整備**

- ・広域の交通・交流を促す交通網の構築のため、国や県、市が連携し、国道1号バイパス(掛川・日坂)、国道150号、県道磐田掛川線の4車線化を促進します。
- ・高速道路を含む広域幹線道路間のネットワークとなる富士山静岡空港や小笠山総合運動公園等を結ぶ東・西環状道路の整備を促進します。
- ・東名高速道路及び新東名高速道路へのスマートIC設置について、可能性を検討します。

**取組の柱(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上**

**具体的な取組① 地域間道路の整備**

- ・地域間の道路網を強化するため、県と市が連携し、地域間幹線道路である、大須賀ルート、大東ルート、掛川-御前崎ルートなどの整備を推進します。

**具体的な取組② 公共交通によるネットワークの強化**

- ・主要なバス停などを交通結節点とし、観光案内と公共交通の運行案内を一体的に提供する場を創出するなど、中心市街地・掛川駅と各地域の公共交通によるネットワークを強化します。
- ・中心市街地は大型バスの駐車場が少ないため、これら駐車場の確保を検討していきます。

**具体的な取組③ サイクリング環境の向上**

- ・掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- ・「バイク・フレンドリー・ステーション」(p.136 参照)の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。

73



大手門のレンタサイクル

平成31年3月策定「掛川市観光振興計画(抜粋)」

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
掛川公園と周辺整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川の歴史・文化ゾーンの中心である掛川公園及び三の丸広場におけるベンチ等休憩スペースの確保などの公園整備、周辺道路の歩道拡幅、街灯や公共サインの修景など、周辺環境を整備し賑わいを創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、三の丸広場隣接の市所有未利用地の利活用に向け、カフェの社会実験やワークショップを行った。令和元年度は、掛川城下の2地区(城内区・松尾町区)を対象に、住民とのワークショップを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



H30ワークショップによる構想図



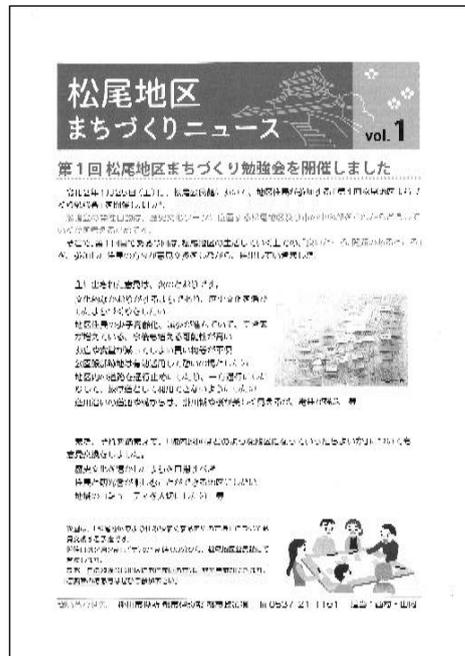
H30市民ワークショップ



H30カフェの社会実験



R元年城内地区  
住民ワークショップ



まちづくりニュース  
(ワークショップ周知)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
「士の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」周遊道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川城周辺地区等には、多くの文化財及び文化施設が集中している。これらの施設を連結的に周遊できるウォーキングルートや案内・説明板を整備していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

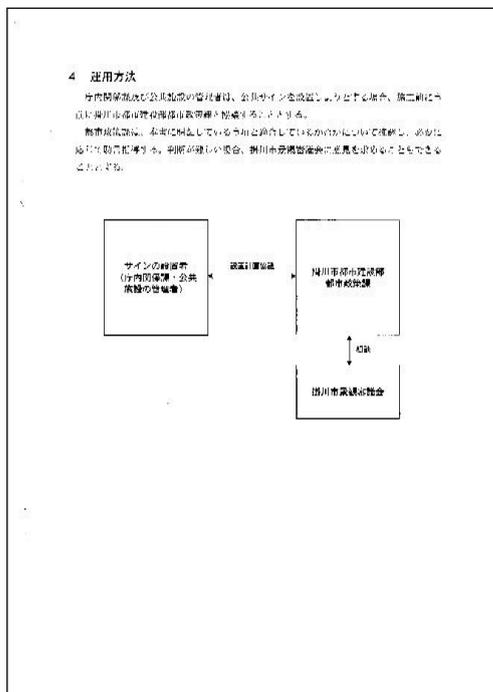
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

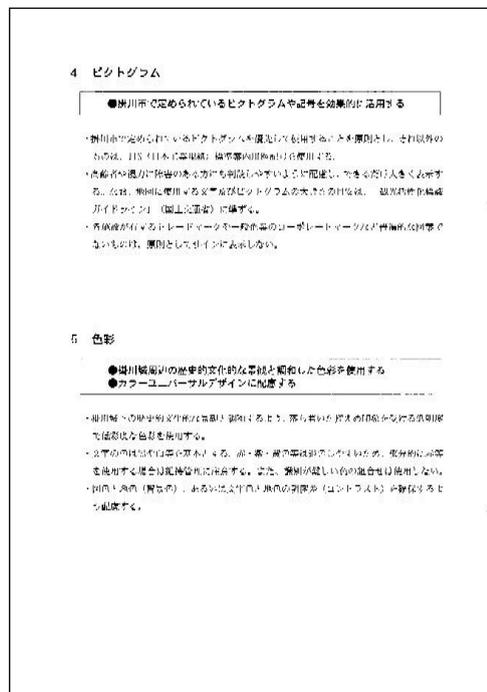
状況を示す写真や資料等



現在設置されている案内板  
(逆川沿い)



サイン基本方針  
(抜粋:運用)



サイン基本方針  
(抜粋:色彩等)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財調査、保存管理(活用)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 市内には105件の有形・無形の指定文化財、4件の国の登録有形文化財、1件の国選択無形民俗文化財がある。有形文化財については現状を把握し、適切な保存・活用を実施する。3件の国指定史跡については各保存管理計画に沿って、適切な保存整備を行い、県、市指定の史跡現状を確認し、適切な対策を講じる。無形民俗文化財については後継者の指導育成等について支援を行うとともに、保存伝承の手助けとするため記録作成等の調査を実施していく。また、未指定の文化財については悉皆調査を実施し、必要に応じて指定等の措置を講ずる。市内に704件ある、埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき適切な保護、保存措置を講じていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に3件ある国史跡の内、高天神城跡と横須賀城跡については、整備計画の一部見直しの準備のため、整備専門委員会を開催した。和田岡古墳群の内、吉岡大塚古墳については、平成29年度から整備工事に着手しており、令和元年度は墳丘の復元工事、周辺の植栽工事を実施した。  
 市内に4件ある県指定無形民俗文化財の保存会に対して支援を行った。(評価軸③-7、8参照)  
 令和2年度から実施する、国選択無形民俗文化財「三熊野神社大祭の衾里行事」の民俗文化財調査に向け、調査の準備会や委員会を開催した。瀬戸山Ⅰ遺跡、吉岡下ノ段遺跡において発掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



国指定史跡和田岡古墳群 吉岡大塚古墳整備工事



瀬戸山Ⅰ遺跡第7次発掘調査作業風景



吉岡下ノ段遺跡第17次発掘調査作業風景

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財の修理については、日頃の維持管理を含めた予防対策と被害を受けた場合の適切な修理、復旧が求められる。その価値を維持するため、過去の記録などを活用し、新たな調査研究に基づき実施する。所有者の財政的負担の軽減のためにも積極的に各補助制度を活用する。文化財を保存・活用しながら展示できる個別施設や、総合的な情報発信の拠点整備が必要である。また、文化財単体への措置を講ずるのではなく、周辺環境と一体的な措置を講じることが必要である。文化財は災害などにより毀損、滅失する恐れがあることから、個別に防災対策を検討し被災リスクを軽減していくと共に、文化財に対する防災知識の普及、防犯に対する意識の向上なども図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定建造物松ヶ岡(旧山崎家住宅)の修理工事に着手し、令和元年度は後補材の撤去を実施。(評価軸③-3)  
 国史跡高天神城跡にて、台風など豪雨等の影響による崩落で生じた危険箇所の柵の補修を実施。(評価軸③-5)  
 県指定建造物2件において、所有者が県補助金を受け、防災施設保守点検事業を実施した。(龍華院大猷院霊屋、報徳社建造物群) また、龍華院大猷院霊屋では、市職員による清掃や内部の確認を行った。  
 県指定無形民俗文化財大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事に使用する神輿の修理費を補助。(評価軸③-7)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



龍華院大猷院霊屋



龍華院大猷院霊屋の清掃と内部の確認



淡山翁記念報徳図書館



旧有栖川宮熾仁親王邸御座所



旧有栖川宮熾仁親王邸侍女部屋



旧遠江国報徳社第三館掛川事務所

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財の保存・活用、普及・啓発のため、統一的な案内板の設置、パンフレットの作成、配布を行うとともに観光ボランティアガイド活動の育成やイベントなどを開催する。また、文化財の展示会や講座などを開催し、市民にとって文化財が身近で必要なものになるよう郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらう。文化財の保存、管理及び活用について行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存、管理及び活用に取り組んでいる団体と連携することが必要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

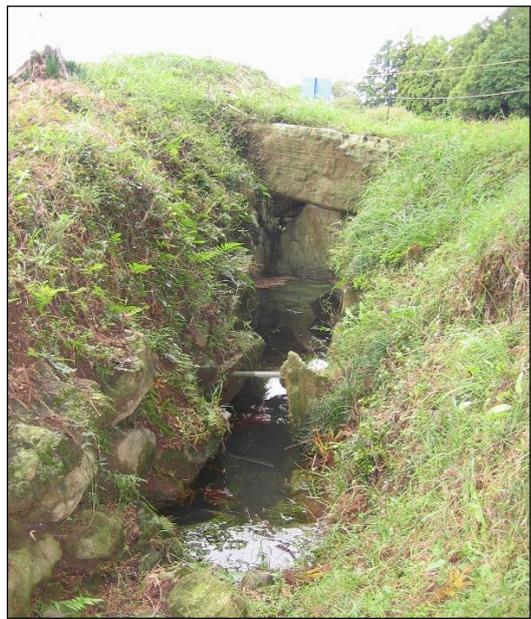
一般市民を対象とした、「出土文化財展」、小中学生を対象とした、「出前文化財講座」、「夏休み文化財教室」を実施した。瀬戸山Ⅰ遺跡第7次発掘調査の終了後、一般市民に対して現地説明会を開催した。(評価軸③-21参照)  
 重要文化財「掛川城御殿」、県指定建造物「龍華院大猷院霊屋」、本殿が県指定建造物である三熊野神社で、防災訓練が所有者が中心となって実施された。大日本報徳社が令和2年度に実施する防災施設設置工事について協議を行った。  
 市指定建造物である「松ヶ岡」では、市民ボランティアと協力し、スタンプラリーやミニ門松作りなど、子どもたちが松ヶ岡に親しむことを目的としたイベントを開催した。(評価書③-3参照)市指定史跡「平塚古墳」の保存会が行う、維持、保全事業に対して補助金を交付した。中村砦の保全活動を地元の団体と共同で実施した。(評価軸③-6参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



龍華院大猷院霊屋防災訓練(令和2年1月21日)



平塚古墳

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和元年度 掲載紙等
テレビ		
SBSイブアイしずおか 葛利活用特集	平成31年4月11日	SBS
SBS所さんのお届けものですよ(葛湯・駕籠駅伝)	令和2年2月16日	SBS
新聞		
新技術で大獅子を後世に 歴史的建造物の後世に引き継ぐために	令和元年10月28日	建通新聞
「松ヶ岡」復元工事を公開	令和元年11月24日	静岡新聞
葛布「伝統工芸」来年度指定目標	令和元年12月6日	静岡新聞
中村砦跡 憩いの場に 芝生広場が完成	令和元年12月13日	静岡新聞
無電柱化へ専門家助言 遠州横須賀街道で現地調査	令和2年1月11日	静岡新聞
三熊野神社大祭 重文指定へ掛川でシンポ	令和2年2月24日	静岡新聞、郷土新聞
松ヶ岡の保存活用工事進む	令和2年2月28日	郷土新聞
偉容あらわ吉岡大塚古墳 掛川市見学会開く	令和2年2月28日	郷土新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致に関連する施設や行事の特集や、今後に繋がる取組が報道されたことにより、市民等への本市の歴史まちづくりの周知が図られたとともに、関心を高めることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

項目

観光の振興

計画に記載している内容 関連計画「掛川市都市計画マスタープラン」において、「観光資源や歴史・文化的資源を活かしたまちづくり」が将来都市像に位置付けられている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光ニーズが多様化するなか、本市の特性や資源を活かした個性光る観光に取り組み、交流人口を拡大し観光振興のみならず地域活性化に繋げるため、平成31年3月に掛川市観光振興計画を策定した。  
観光交流客は、平成20年度(3,896千人)から平成22年度(2,929千人)にかけ大きく減少したものの、その後は概ね増加傾向にあり平成30年度(3,750千人)には平成20年度と同程度まで増加した。宿泊客数は年々増加し、平成20年度は437千人だったものが平成30年度には604千人に増加した。  
掛川城入館者は、開館した平成6年(494,170人)が最大で、NHK大河ドラマ「功名が辻」放送時の平成18年度(324,497人)以降、10万人程度で推移していたものの、平成25年度(109,857人)から増加に転じた。平成30年度は、豪雨や猛暑の影響により減少(123,125人)した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

観光交流客数の増加のために、公共交通、道路や案内図の不足や広報PR手段の改善が必要である。

状況を示す写真や資料等

